



日本老年腫瘍学会 (JGOS)
Japan Geriatric Oncology Society

入会のご案内

日本老年腫瘍学会

Japan Geriatric Oncology Society (JGOS)

学会事務局

〒277-8577

千葉県柏市柏の葉6丁目5-1

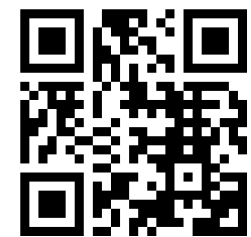
国立がん研究センター東病院内

メールアドレス

JGOS-support@jgos.jp

ホームページ

<https://www.jgos.jp/>



※入会にあたり、適切な推薦人がいない場合は
事務局メールアドレスにご連絡ください。

老年腫瘍学は、がんを患う高齢者を専門とする学問です。世界でも比較的あたらしい領域であり、日本ではまだ馴染みがないと思います。

日本も含めた世界の研究者、臨床医が発展に努めており、欧米を中心に老年腫瘍学専用のグループが立ちあげられています。しかし、日本では、老年腫瘍学に関するデータを集約する場所がなかったため、医療者は診療に必要な情報を得るのに苦労していました。

また、がんを患う高齢者にとって何が適切な医療なのか、については腫瘍学だけでなく老年医学の考え方も学ぶ必要があります。

さらに、治療方針を決めるのは医師だけでなく看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、メディカルソーシャルワーカーなど多職種の医療従事者が協働する必要がありますが、これらが一堂に会する場所がありませんでした。

こうした背景から、我々は日本老年腫瘍学会を設立しました。

老年腫瘍に関する正確な情報を発信し、がんを患う高齢者が「がん」とともに生き、豊かな人生を送れるよう支えられれば幸いです。

がんを患う高齢者が 「がん」とともに生き、 豊かな人生を送れるように 支えたい



Geriatric(老年) Oncology(腫瘍)のGとOを模したロゴは、高齢者が自らのあゆみを支えるための“杖”をついています。

高齢者を支えたいという我々の手助けの意思を込めて杖を柿色にしました。

老年科との協働体制

高齢者機能評価（GA）を含む、老年科診療で培われた知識と技術を共有します。

多職種協働の推進

ケースカンファレンスなどを通して高齢者のがん診療・ケアを議論する場を提供します。

誰もが、どんな施設でも、個々の患者さんにとっての
「適切な医療」を提供できるようにするために

教育リソースの共有

高齢者のがん診療に関するエビデンスを集約し、実践に役立つ情報として発信します。

国際的な連携体制の構築

世界の老年腫瘍学会と連携して、老年腫瘍学の国際的な発展に貢献します。

お申し込み方法

現在、入会には世話人の推薦が必要です。

世話人代表



水谷友紀

国立がん研究センター中央病院
呼吸器内科 腫瘍内科医



小川朝生

国立がん研究センター東病院
精神腫瘍科 精神科医

世話人



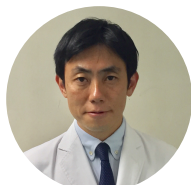
柳川まどか

名古屋大学医学部附属病院 化学療法部
老年科医・認知症専門医



山本寛

東京都健康長寿医療センター
呼吸器内科 老年科医



石井正紀

東京大学医学部附属病院
老年病科 老年科医



山口潔

ふくろうクリニック等々力・自由が丘
老年科医・老年精神科医



澤木正孝

国立病院機構 名古屋医療センター
プレストセンター 腫瘍医



福元剛

三つ葉在宅クリニック
消化器外科医



成田伸太郎

秋田大学大学院医学系研究科
腎泌尿器科学講座 泌尿器科医



小坂橋紀通

群馬県立心臓血管センター
循環器内科 循環器内科医



濱口哲弥

埼玉医科大学国際医療センター
腫瘍内科・消化器腫瘍科 腫瘍内科医



渡邊眞理

湘南医療大学
保健医療学部看護学科 看護師



清水奈緒美

湘南医療大学
保健医療学部看護学科 看護師



井関千裕

大阪晩明館病院 看護部
看護師



井上智香

群馬大学医学部附属病院
緩和ケアセンター 看護師



原田剛志

国立がん研究センター東病院
リハビリテーション科 理学療法士



西山菜々子

大阪公立大学大学院
リハビリテーション学研究科 作業療法士



牧原玲子

国立がん研究センター中央病院
薬剤部 薬剤師



渡邊雄貴

小林記念病院
薬剤科 薬剤師

Admission

入会案内

会費の種類・年会費

一般会員（医師）	10,000円
一般会員（医師以外）	5,000円
学生会員	2,000円 (学部・専門学校・大学院生)
賛助会員（法人）	100,000円 本学会の趣旨に賛同する企業

会員の主な特典

- 学術大会やイベントなどの参加割引
- 会員向けコンテンツへのアクセス
- 専門委員会や作業部会に参画できる機会の提供
- 世界の臨床医や研究者と連携する機会の提供